

**「捨てない社会をかなえる」
使用済衣類回収・循環のインフラ構築に係る
サーキュラーシティ実証事業**

事業報告書

実施団体名 愛知県蒲郡市

令和6年12月

1. 対象地域の概要

2. 事業の目的

3. 事業の内容

- 経緯／現状・課題・取組み状況
- 回収BOX設置場所
- 回収実証
- 啓発
- リユースイベント（選別体験・譲渡会）

4. 事業の実施体制

5. 事業の成果

- 使用済衣類のリユース・リサイクル
- 回収オペレーション・域内事業者との接続実証
- 回収・選別にかかるコスト分析
- 回収BOX利用者アンケート
- 選別・譲渡会アンケート
- 掲載メディアなど
- 目標（ゴール）の達成状況

6. 今後の検討課題

7. 事業終了後の展開

8. 横展開へのポイント

1. 対象地域の概要

人口	77,625人 うち外国人 3,591人 (令和6年11月1日現在)	世帯数	33,809世帯 うち外国人 1,841世帯 (令和6年11月1日現在)
年齢構成	総人口に対する年少人口比率が12.1%、生産年齢人口比率が58.3%、老年人口比率が29.7%（2020年国勢調査より）		
蒲郡市の特徴	◆ 愛知県に属し、本州のほぼ中心に位置する海辺の観光地 ◆ 市内に4つの温泉地を有し、風光明媚な景観が特徴 ◆ 年間32,000 t のごみが排出され、市民一人一日当たりのごみの量は1,082 g で、愛知県内の全54市町村のうちワースト4位（令和4年度実績） ◆ 循環経済型の都市を目指し、「ゼロカーボンシティ」、「サーキュラーシティ」を表明		
本事業の対象地区	地域にある商業施設などの協力施設など市内各所、市民の生活導線上の施設の設置し、楽しみながら同時に環境負荷の低減に貢献するサステナブルファッションの定着、「捨てない社会をかなえる」循環型なまちづくりを目指す事業であり、市全域を対象。		
リユース施策	◆ 粗大ごみのうち、まだ使用できるものは入札方式による「リサイクルバザール」を開催し、必要とされている方へ売却 ◆ 令和4年度に、ごみ処理場に持ち込まれる粗大ごみや市役所内の備品を「メルカリShops」にて販売（令和4年度に連携協定を締結） ◆ 「令和5年度使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業」において粗大ごみの「メルカリShops」での販売の効果の可視化、手順のマニュアル化を図った。 ◆ 令和5年度に「メルカリShops」で販売が困難な大型な家具や食器類を株式会社ECOMMITへ引き取り（令和6年度に連携協定を締結）		

2. 事業の目的

事業概要

- ◆ 地域内における繊維to繊維の循環の仕組みの確立を図る。市内の店舗等に設置する使用済衣類回収BOXによる回収のオペレーションに関する実証、リユース・リサイクルの事業採算性等の検証、回収する使用済衣料の一部である子ども服のリユースイベントを開催する。

実施エリア・対象

- ◆ 地域にある商業施設などの市内各所、市民の生活導線上の施設に設置し、楽しみながら同時に環境負荷の低減に貢献するサステナブルファッションの定着、「捨てない社会をかなえる」循環型なまちづくりを目指す事業であり、**市全域を対象**。

事業の現状・課題

- ◆ 使用済衣類は資源物としての処分を促しているが一定程度は適切に処分されず、焼却ごみとして廃棄されるものもある。（資源物としての古衣料の回収量：約300 t / 年、焼却ごみのうち繊維・布類約5%（約1,600 t / 年））使用済衣類に限らず、適切に分別することで資源になるという意識を市民に持ってもらう必要がある。
- ◆ **衣類のリサイクルは工業用ウエスへのダウンサイクルが主流**。より価値が高い循環の仕組みの確立を図る必要がある。

事業の目標

- ◆ 適切な分別を促すため、既存の資源物回収ルート以外で地域内での**回収・リユースの最適なシステムを構築する**
- ◆ 実証期間での回収量**3 t 以上**、回収した衣類のリユース率・リサイクル率を**90%以上（うち、リユース70%以上）**を目指す。
- ◆ 古着を資源として有効に活用できるかについては消費者一人ひとりにおける廃棄行動が重要である。利用者アンケートにより、意識の変化を検証する。

3. 事業の内容

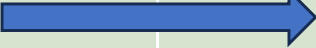
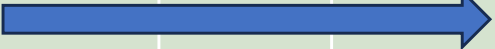
事業名

「捨てない社会をかなえる」
使用済衣類回収・循環のインフラ構築に係るサーキュラーシティ実証事業

事業の内容および実施期間

事業目標

- 本事業を実施することで地域内での回収・リユースの最適なシステムを構築
- 新たな回収拠点におけるリユース品回収量を実証期間で3トンの回収
- 回収した衣類のリユース・リサイクル率を90%以上（うちリユース率70%以上）
- 利用者アンケートによる市民の意識の変化を促す。60%以上の意識変化

実施事業	実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月
回収実証	市内スーパー・ホームセンターなどと協力し、生活導線上に衣類の回収BOXを設置することで適切な分別、資源化を促すとともに回収ルートやシステムについて実証を行う。	回収ルート 回収拠点 調整 		回収実証 回収ルート 検証  			
リユースイベント （選別体験 会・譲渡会）	回収した使用済衣類の選別会・譲渡会を開催し、市民の使用済衣類の廃棄の現状を知ってもらい、意識向上を図る。					★	

3. 事業の内容

経緯／現状・課題・取り組み状況

- ◆ 使用済衣類は資源物としての処分を促しているが一定程度は適切に処分されず、焼却ごみとして廃棄されるものも存在する。焼却ゴミを減らすことは喫緊の課題であり、**焼却することにより1キロあたり約40円かかり、CO2も排出**される。また、焼却後の灰は市内にある最終処分場へ持ち込むが、**既存の最終処分場は、あと約5年で満杯になる**ことが予想されている。新たな最終処分場を整備することは自然環境に負荷をかけ、莫大な費用がかかるため、**最終処分場の延命を図る必要**があり、ごみの量を減らすことは本市にとって喫緊の課題となっている。
- ◆ 衣類のリユースの実証を行ない、市が実施するリユースの対象物を拡大することで、市民の意識を醸成することで「長く使う」、「捨てる前にリユース・リサイクル」が市民にとって当たり前になるよう取り組みを進める。
- ◆ 本市において使用済衣類はPTAや子ども会が行う集団回収（資源回収）のほか、市においても月に2回資源ステーションにて回収とクリーンセンターへの直接の持ち込みにより回収している。回収した衣類については入札により買取事業者を選定している。
- ◆ 衣類の回収拠点を生活導線上に設置し、回収日時に関わらず（施設の営業時間内に限る）柔軟性を持たせることで、適切な処分が促されるか実証を行う。ゼロカーボンシティ、サーキュラーシティを目指す本市において一歩踏み込んだ回収システムの検討、市民参加型の取り組みを行うことで市民の意識変容、行動変容を促すことを目的としている。

3. 事業の内容

経緯／現状・課題・取り組み状況

設置時のサイズ

ECOMMIT



※ BOX内に回収袋（フレコン）約90ℓが入っている。

3. 事業の内容

回収BOX設置箇所

No.	店舗	住所	学区
1	JA蒲郡市 大塚支店	蒲郡市大塚町大門 1 1 2	大塚
2	ドミー 三谷店	蒲郡市三谷町若宮 9 5 - 1	三谷
3	精文館書店 蒲郡三谷店	蒲郡市三谷北通 6 丁目 2 2 8	三谷
4	サンヨネ 蒲郡店	蒲郡市八百富町 7 - 3 4	蒲郡
5	サンレジャン 蒲郡店	蒲郡市府相町 2 丁目 2 6 9	蒲郡
6	DCM 新蒲郡店	蒲郡市竹谷町一ノ坪 8 番地	塩津
7	カインズ 蒲郡店	蒲郡市鹿島町浅井新田 1 - 3	塩津
8	ベイシアフードセンター 蒲郡店	蒲郡市鹿島町浅井新田 1 - 3	塩津
9	ドラッグスギヤマ 形原店	蒲郡市形原町亀井 3 0 番地の 1	形原
10	JA蒲郡市 西浦支店	蒲郡市西浦町宮新田 9 - 3	西浦



※ 別途、蒲郡市役所へも市民への周知兼回収用として設置。

3. 事業の内容

回収BOX設置箇所



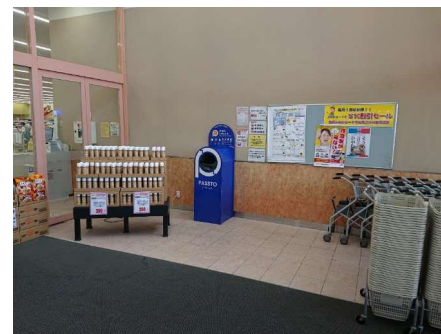
JA蒲安市 大塚支店



ドミー 三谷店



精文館書店 蒲郡三谷店



サンヨネ 蒲郡店



サンレジャン 蒲郡店



DCM 新蒲郡店



カインズ 蒲郡店



ベシアフードセンター
蒲郡店



ドラッグスギヤマ 形原店



JA蒲安市 西浦支店

3. 事業の内容

啓発

【実施内容】

- ◆ 広報がまごおり9月号、11月号
- ◆ 啓発チラシ作成及び配布
- ◆ ホームページによる広報
- ◆ 情報配信サービス「きずなネット」での配信（中部電力株式会社）
- ◆ 家庭向けWEBサービス「カテエネ」会員向けのメールマガジン（中部電力株式会社）

もう着ない服、ありませんか

使用済の衣類を市内のスーパーなどで回収します。
回収した衣類は後日、リユース譲渡会を開催予定です。

と き 9月1日～10月31日

と ころ JA 蒲郡市大塚支店、ドミー三谷店、精文館書店
蒲郡三谷店、サンレジャン蒲郡店、サンヨネ蒲郡
店、DCM 新蒲郡店、カインズ蒲郡店、ペイシア
フードセンター蒲郡店、ドラッグスギヤマ形原店、
JA 蒲郡市西浦支店

回収できる衣類
トップス、ボトムス、
ジャケット、コート

回収できない衣類
靴下・肌着、水着、
着物、制服、体操着、
ユニフォーム

環境清掃課 ☎ 57-4100
ID 0316338

PASSTO
服をバストしよう。

使用済み衣類リユース無料譲渡会 ID 0319348

市内で回収した使用済衣類の選別体験や譲渡会を行います。

と き 11月16日 午前10時30分～午後3時
※正午～午後1時30分は除く

と ころ 商工会議所2階イベントホール

対 象 どなたでも

申し込み 11月15日までに、QRコードまたは
電話で環境清掃課へ。

環境清掃課 ☎ 57-4100



3. 事業の内容

啓発

作成枚数：A4サイズ、3,000枚
配布場所：公共施設など市内各所で配布


 × ECOMMIT ×
 
 中部電力

みんなのお洋服、回収中！



パストしよう。
PASSTO

START _____ END _____
09.01 [日] **10.31** [木]

回収ボックス設置店舗一覧	
■ カインズ 蒲郡店	■ 精文館書店 蒲郡三谷店
■ サンヨネ 蒲郡店	■ DCM 新蒲郡店
■ サンレジャン 蒲郡店	■ ドミー 三谷店
■ JA 蒲郡市 大塚支店	■ ドラッグスギヤマ 形原店
■ JA 蒲郡市 西浦支店	■ ベイシアフードセンター 蒲郡店

回収時間は店舗の営業時間をご確認ください。

啓発チラシ（表面）

日本全体で1年間に手放される衣服 約**70万トン**

66%	19%	15%
可燃・不燃ごみに出される衣服…約 47万トン	リユース 13万トン	リサイクル 11万トン

「サステナブルファッション」(掲載) (https://www.warv.go.jp/policy/sustainable_fashion/)をもとに株式会社ECOMMIT作成

着なくなったお洋服は、次の人へ
パストされたものは、丁寧に選別して、次に必要とするところへ再流通。



パストを介して選別され
リユースやリサイクルへ

リユース
お預かりしたままの形で、
最適な行き先にもを再流通させます。

水平リサイクル
リユースが難しいものは原料に戻して、
新たなお洋服にリサイクル。

その他リサイクル
リユースもお洋服の原料に戻すのも難しい
ものは、車のシートクッションなどに、用途
を変えてリサイクル。

回収できるモノ

衣類のリサイクル
REUSE & RECYCLING OF CLOTHING

トップス	ボトムス	ジャケット コート	スカート	シャツ

回収できないモノ

靴下・肌着	水着	着物	制服・体操着 ユニフォーム	靴・スリッパ 上履き

■一度回収したものは返却できません。 ■汚れたものを入れないでください。

環境省「令和6年度使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業」の一環として実施します。

お問い合わせ先
蒲郡市 環境清掃課 美化衛生係
TEL : 0533-57-4100




よくある質問 PASSTO WEB

啓発チラシ（裏面）

3. 事業の内容

啓発



ホーム > 組織でさがす > 市民生活部 > 環境清掃課 > 使用済衣類の店頭回収を行います

使用済衣類の店頭回収を行います

ページID: 0316338 更新日: 2024年8月23日更新 印刷ページ表示

令和6年度使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業

使用済衣類回収BOX「PASSTO」を使って、ご家庭の使用済衣類を市内のスーパー等小売店で回収します。

回収期間

令和6年9月1日（日曜日）～令和6年10月31日（木曜日）

市内実施店舗

- ・カインズ蒲郡店 ・精文館 蒲郡三谷店
- ・サンヨネ蒲郡店 ・DCM新蒲郡店
- ・サンレジャン蒲郡店 ・ドミー三谷店
- ・JA蒲郡市大塚支店 ・ドラッグスギヤマ形原店
- ・JA蒲郡市西浦支店 ・ベイシアフードセンター蒲郡店

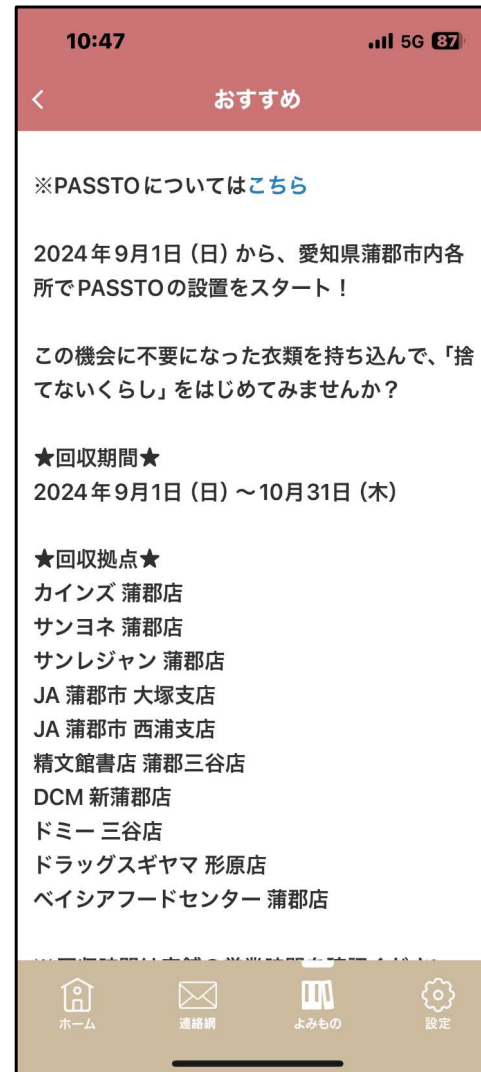
回収できる衣類

蒲郡市ホームページ

3. 事業の内容

啓発

令和6年8月30日（金）配信



3. 事業の内容

啓発



☆捨てないくらし☆蒲郡市内で使用済み衣類回収開始！

蒲郡市内で衣類回収ボックス「PASSTO」を設置中！

2024年9月1日（日）より、蒲郡市内の10箇所に、株式会社ECOMMITが提供する使用済み衣類回収ボックス「PASSTO（パスト）」の設置を開始しました。



START 09.01 [日] END 10.31 [木]

回収ボックス設置店舗一覧

■ カインズ 蒲郡店	■ 精文館書店 蒲郡三谷店
■ サンヨネ 蒲郡店	■ DCM 新蒲郡店
■ サンレジャン 蒲郡店	■ ドミー 三谷店
■ JA 蒲郡市 大塚支店	■ ドラッグスギヤマ 形原店
■ JA 蒲郡市 西浦支店	■ ベイシアフードセンター 蒲郡店

回収時間は店舗の営業時間をご確認ください。

回収時間は店舗の営業時間をご確認ください。

この取り組みは、環境省「令和6年度使用済み衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業」の一環として実施しております。
まずはお近くのPASSTOから循環のアクションに参加して「捨てないくらし」ははじめませんか？

中部電力および中部電力ミライズは、PASSTOを通じて、誰もが手軽に参加しやすい資源循環の輪を広げていく取り組みを進めています。

●蒲郡市内での回収品目詳細は以下のとおり



●PASSTOについて → <https://www.passto.jp/>

カテエネにログイン→

- このメールは送信専用メールアドレスから配信されています
- 本メールは「カテエネ」サービスをご利用いただいているお客さまに配信しています
- ▼よくあるご質問は[こちら](#)
- ▼メール配信サービスの解除等は[こちら](#)
- ▼ご意見・ご要望・ご不明な点等は[こちら](#)
- ▼個人情報のお取り扱いについては[こちら](#)

【発行元】
中部電力ミライズ株式会社 カテエネ事務局
〒461-8680 名古屋市中区東新町1番地



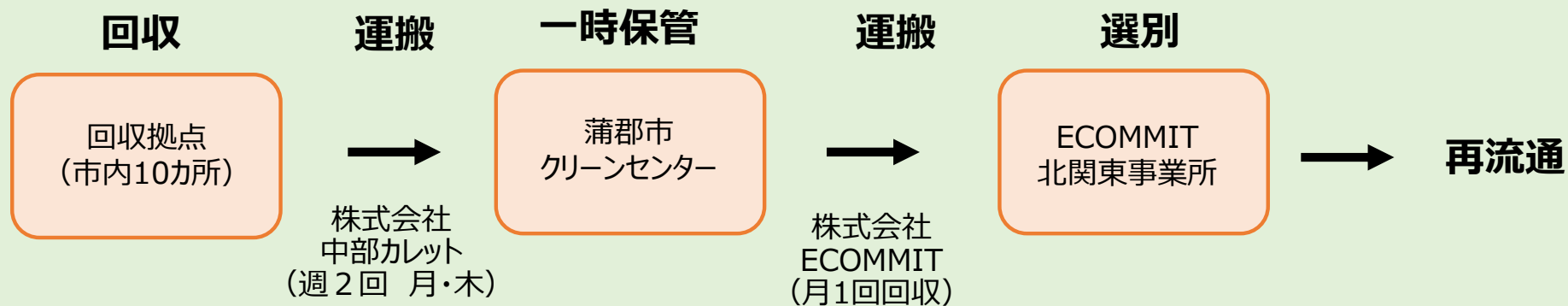
Copyright © Chubu Electric Power Mirai Co., Inc. All rights reserved.

3. 事業の内容

回収実証

実証期間：令和6年9月1日～令和6年10月31日まで

回収オペレーション



3. 事業の内容

リユースイベント（選別体験・譲渡会）

参加費 無料

バストしたものってどうなってるの？

お洋服の ゆくえを知ろう

11.16 土

場所 蒲郡商工会議所 イベントホール

対象 どなたでも

午前の部 10:00-12:00
午後の部 13:00-15:00
※事前申込み制（各25名）

しげんじかん 資源循環サービス「PASSTO」。

ここにいられたお洋服はどうなっているんだろう？
みんなの手で体験してみよう！

詳しくはうら面をチェック➡

がまごおり市で集まった
お洋服で体験してみよう！

- 1 分けてみよう
リユースできる？
リユースできない？
- 2 分けてみよう
どんな素材で
できているのかな？
- 3 交換会も実施中！
205 会議室にて
お持込み / お持ち帰りください

毎日お洋服を選別している
「プロピッカー」
も来るよ！

お申込みはこちら

右側の QR コードの申込みフォームよりご応募ください。
(交換会の場合、お申し込みは必要ありません。)

蒲郡市 環境清掃課 美化衛生係
0533-57-4100

回収にご協力いただいた拠点一覧

カインズ 蒲郡店	JA 蒲郡市 西蒲支店	サンレジャー 蒲郡店	DCM 新蒲郡店	ドラッグスギヤマ 形原店
サンヨー 蒲郡店	龍文書庫店 蒲郡三谷店	JA 蒲郡市 大塚支店	ドミー三谷店	ベイシアフードセンター 蒲郡店

環境省「令和6年度使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業」の一環として実施しています。

蒲郡市 × ECOMMIT × 中部電力

- ◆日時
令和6年11月16日（土）
午前の部：午前10時から正午
午後の部：午後1時から午後3時
- ◆場所
〈ワークショップ〉
蒲郡商工会議所 イベントホール
〈譲渡会〉
蒲郡商工会議所 205会議室

作成枚数：A4サイズ、3,000枚
配布場所：公共施設など市内各所で配布

3. 事業の内容

リユースイベント（選別体験・譲渡会）

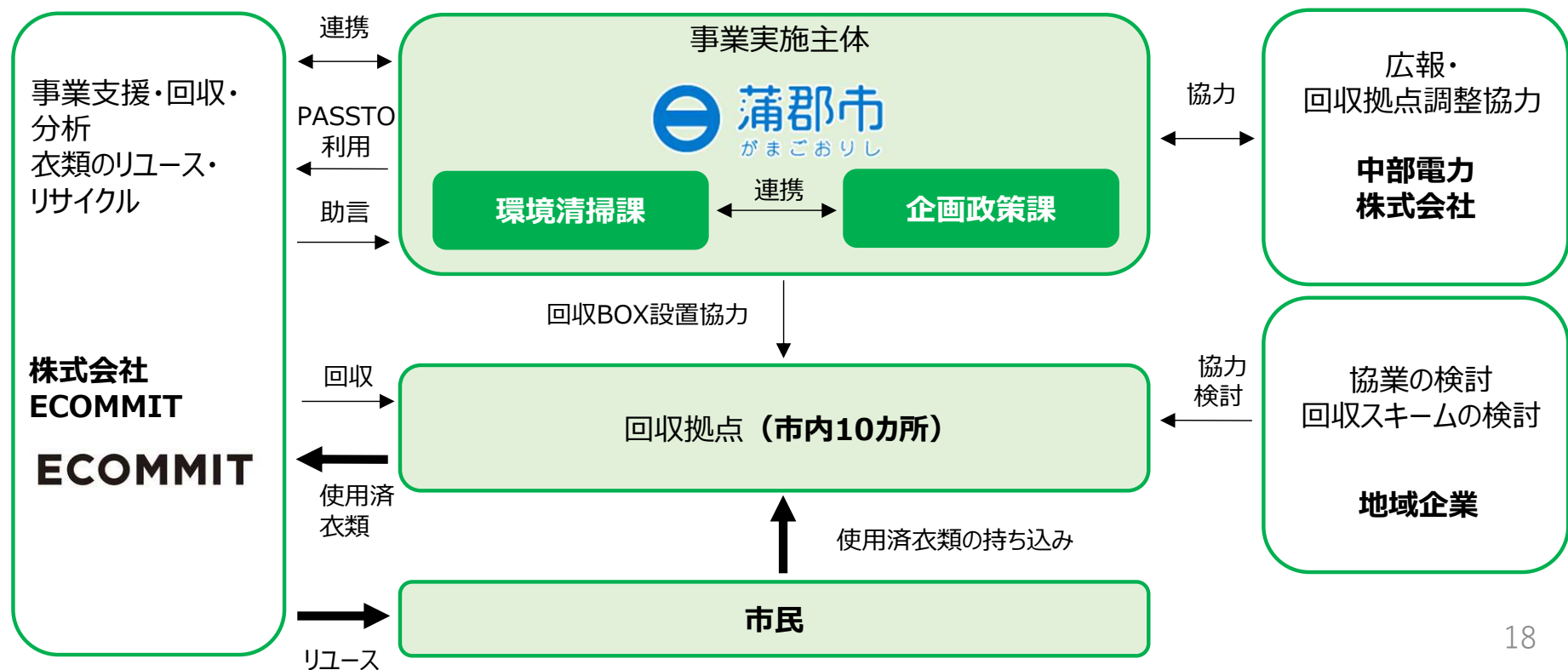


4. 事業の実施体制

事業参加者の役割

- 蒲郡市 企画政策課 サークュラシティ推進室：総合窓口、連携先との調整等全体調整
環境清掃課：使用済衣類の回収拠点検討・協議。リユースイベントの開催、市独自リユース施策との連携
- 株式会社ECOMMIT：回収拠点の調整、BOXの設置、回収座組の調整、回収品の選別、回収品の再流通
- 中部電力株式会社：デジタルツールを活用した地域内広報、回収拠点の協力

事業実施体制



5. 事業の成果

【使用済衣類のリユース・リサイクル】

- 回収量に関する分析
 - － 回収日別
 - － 回収拠点別
 - － 回収拠点店舗の特徴
 - － 回収BOX設置協力店舗選定方法
 - － 選別結果・不適合品含有量
 - － CO2削減量（対焼却比）に関する分析

【回収オペレーション・域内事業者との接続実証】

【回収・選別にかかるコスト分析】

【回収BOX利用者アンケート】

- 利用者の声（店頭回収分）
- 利用者の声（電子アンケート）

【選別体験・譲渡会アンケート】

- アンケート調査結果

【他アンケート調査との比較】

【掲載メディアなど】

- 掲載メディア（抜粋）

【目標（ゴール）の達成状況】

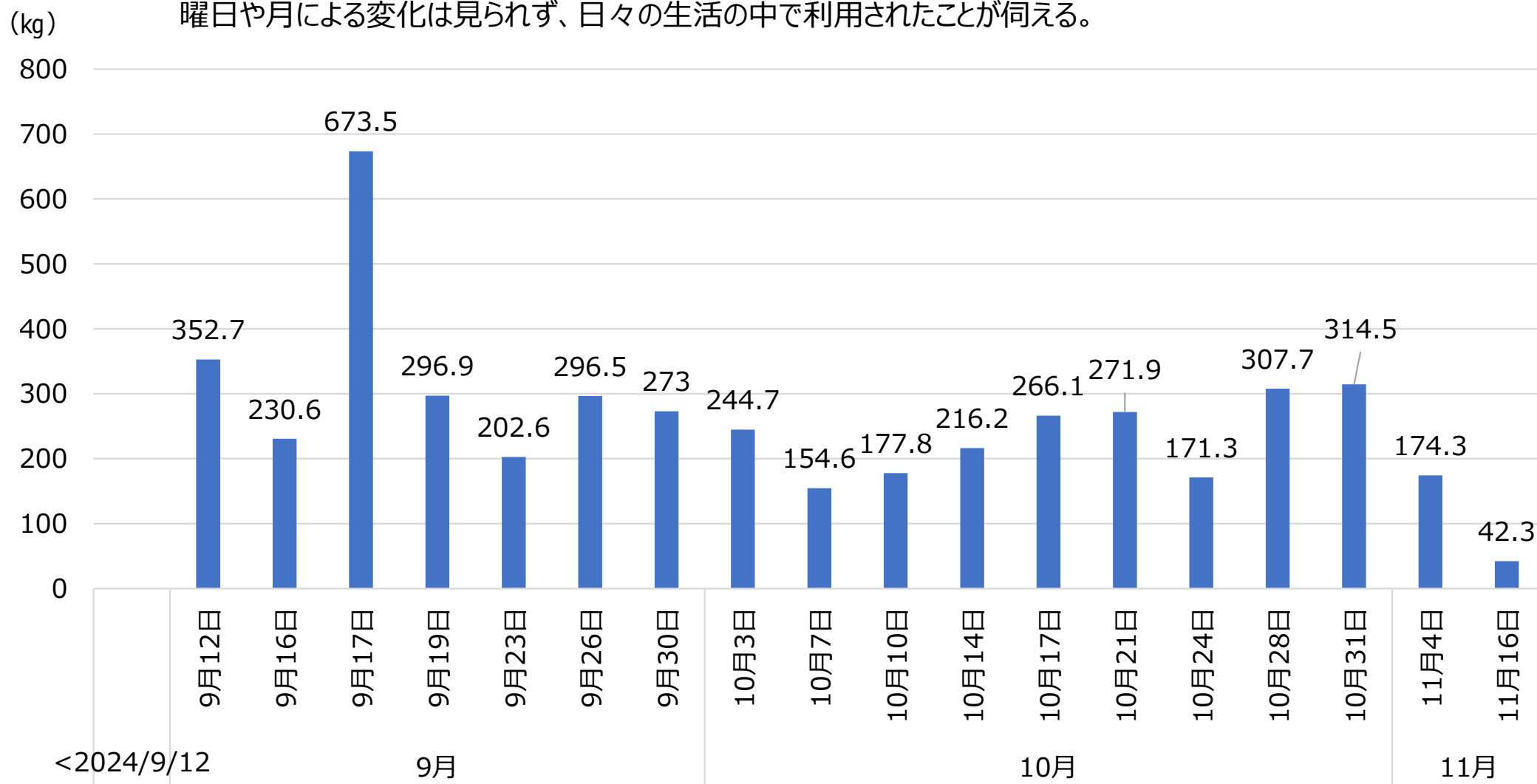
5. 事業の成果

【使用済衣類のリユース・リサイクル】

- 回収量に関する分析（回収日別）

全体の回収量：4,542.7kg

曜日や月による変化は見られず、日々の生活の中で利用されたことが伺える。



※ 9月17日分は9月12日、9月16日の登録漏れ分を登録したもの

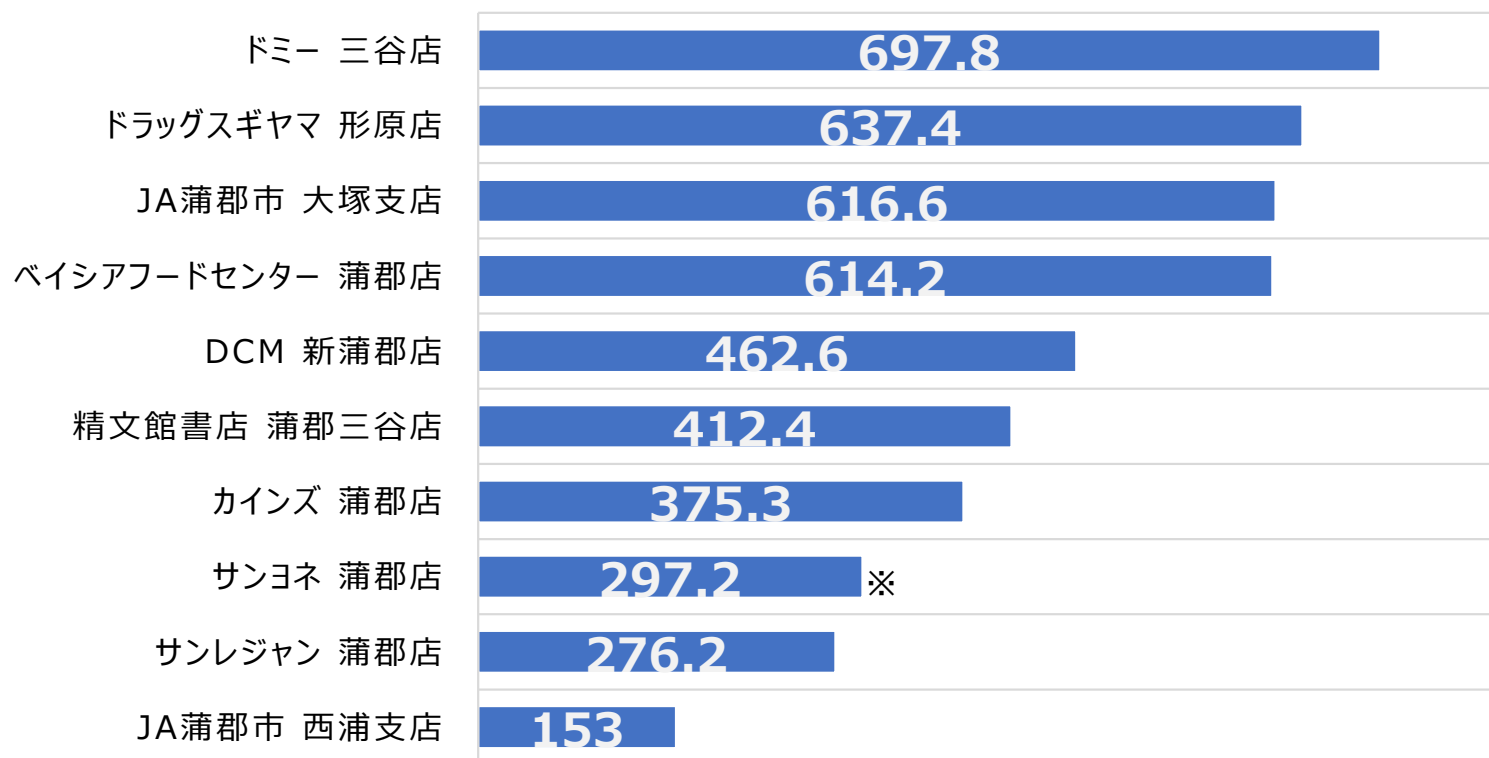
※ 11月16日はリユースイベント回収分

5. 事業の成果

【使用済衣類のリユース・リサイクル】

- 回収量に関する分析（回収拠点別） 令和6年9月1日（日）～令和6年10月31日（木）まで

■店舗別衣類 衣類回収重量(kg)



※サンヨネ 蒲郡店：物量が多く対応不可のため、9月19日をもってボックス撤収

5. 事業の成果

【使用済衣類のリユース・リサイクル】

- 回収量に関する分析（回収拠点別）

令和6年9月1日（日）～令和6年10月31日（木）まで

※ サンヨネ蒲郡店は9月1日（日）から9月19日（木）まで

No.	店舗	重量（kg）	全体に占める割合（%）
1	ドミー三谷店	697.8	15.4
2	ドラッグスギヤマ 形原店	637.4	14.0
3	JA蒲郡市大塚支店	616.6	13.6
4	ベイシアフードセンター 蒲郡店	614.2	13.5
5	DCM 新蒲郡店	462.6	10.2
6	精文館書店 蒲郡三谷店	412.4	9.1
7	カインズ 蒲郡店	375.3	8.3
8	サンヨネ 蒲郡店	297.2	6.5
9	サンレジャン 蒲郡店	276.2	6.1
10	JA蒲郡市 西浦支店	153.0	3.4
合計		4542.7	100

※別途、リユースイベントで42.3kg、市役所分として82.2kg回収 総合計4,667.2kg

5. 事業の成果

【使用済衣類のリユース・リサイクル】

- 回収量に関する分析（回収拠点店舗の特徴）

No.	店舗	店舗の特徴
1	ドミー 三谷店	蒲郡市東部に位置するスーパー。美容院や100円ショップもテナントとして入っている。
2	ドラッグスギヤマ 形原店	処方箋も扱うドラッグストア。市の西部に立地。
3	JA蒲郡市 大塚支店	農家の方のほか、金融関係の手続き等のため、地域の住民も利用。市の東部に立地。
4	ベイシアフードセンター 蒲郡店	カインズ蒲郡店と併設
5	DCM 新蒲郡店	全国に販売店がある市の中心部にあるホームセンター
6	精文館書店 蒲郡三谷店	1階にカフェ、2階にはフィットネスジムが同建物内に入っており、隣接してカフェやコンビニがある。
7	カインズ 蒲郡店	大規模なホームセンター。ベイシアフードセンター蒲郡店と併設。
8	サンヨネ 蒲郡店	蒲郡市の中心部にある幅広い年代が集まるスーパー
9	サンレジャン 蒲郡店	カーテンなどのインテリア関連商品を扱う小売店
10	JA蒲郡市 西浦支店	農家の方のほか、金融関係の手続き等のため、地域の住民も利用。市の西部に立地。

5. 事業の成果

【使用済衣類のリユース・リサイクル】

- 回収量に関する分析（回収BOX設置協力店舗選定方法）

【協力店舗ピックアップ方法】

1. 市内全域の店舗をピックアップ
2. 市民の生活導線上にあり、利用が多い店舗を全店舗一覧からピックアップ
3. すでに独自で使用済衣類の回収を行っている店舗を除く
4. 市内全域が対象となるよう各学区で2～3店舗を抽出

【回収ボックスの設置が困難な主な理由】

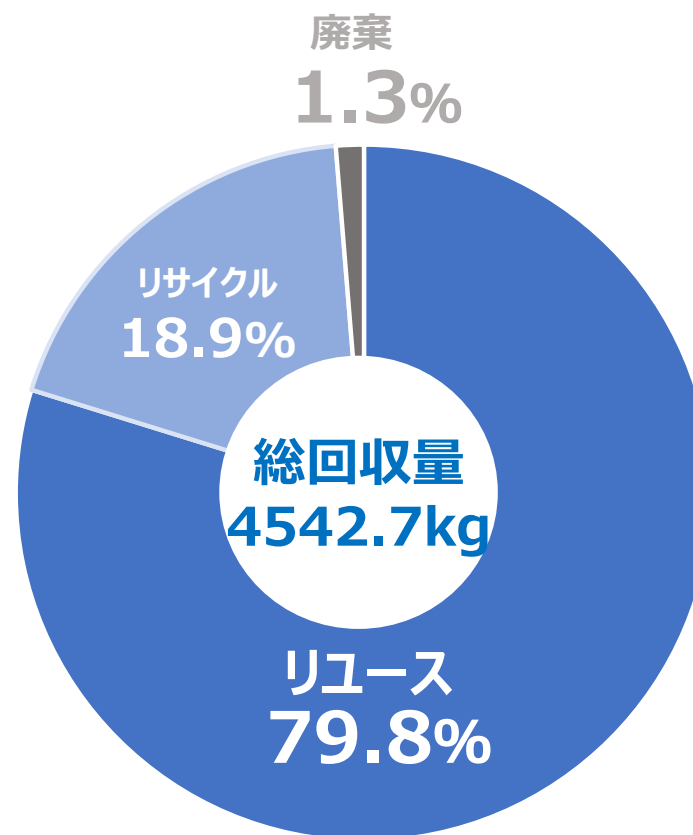
- ・本社の店舗マニュアルに則り、設置ができない。
- ・食品を扱うスーパーだと不衛生な可能性がある使用済衣類の持ち込みは不安。
- ・風雨がしのげる場所の確保が難しい。
- ・通常業務がある中で店舗側の負荷が心配。
- ・すでに同様の回収を始めようとしているテナントがある。

5. 事業の成果

【使用済衣類のリユース・リサイクル】

- 回収量に関する分析(選別結果・不適合品含有量)

資源循環率
98.7%



※廃棄（不適合品）：ペットボトルや食品ゴミ等、カビや劣化によりリユース・リサイクルともに困難なもの

5. 事業の成果

【使用済衣類のリユース・リサイクル】

- CO2削減量（対焼却比）に関する分析

◆単純焼却

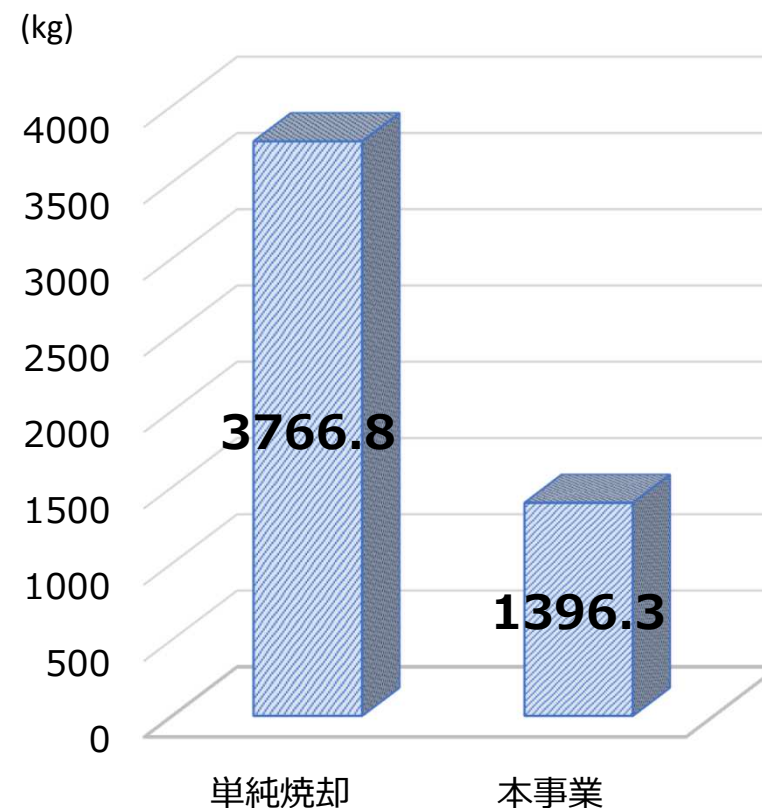
各店舗から蒲郡クリーンセンターまで運搬し、すべて焼却すると仮定した場合のCO2排出量。

◆本事業

(株)ECOMMIT事業所（群馬県）へ搬入し、選別・再流通した際のCO2排出量。

CO2排出削減効果
2,370.5kg

単純焼却比
63%減

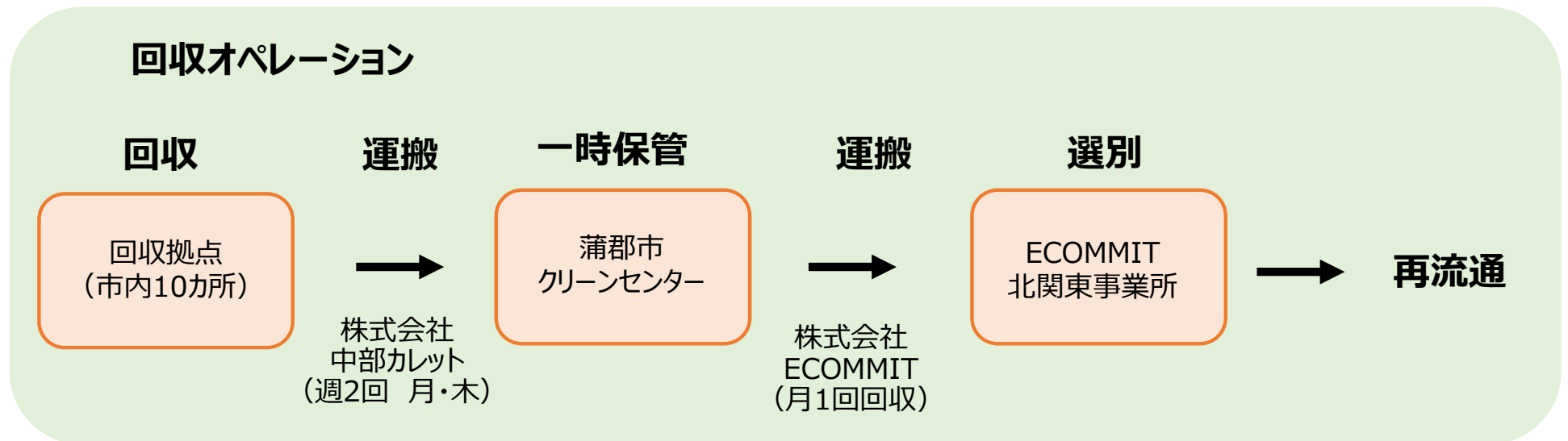


本レポート作成あたりの前提条件（仮定含む）

"※1：回収した資源のうち廃棄分以外の割合※2：当社規定に沿った分別結果をお示ししております。※3：CO2排出削減量は全ての素材を単純焼却した場合の総CO2排出量と今回の国内外リユース、リサイクル、アップサイクル、サーマルリカバリー、廃棄に係る総CO2排出量の差分から算出しております。※4：綿などの天然繊維、羊毛などの動物繊維については、焼却時におけるCO2排出量はゼロとしております。※5：廃棄相当品については全て焼却処理されるものと仮定しております。※6：本レポートにて算出した数値は環境省などのCO2排出原単位などを用いた算出値であり、実際のCO2排出結果や削減効果を保証するものではありません。〈参考文献〉・国土交通省、自動車燃費一覧、トラック等・トラクタ燃費(平成26年3月)、https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr10_000019.html、2021-10-1参照・環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室、3R原単位の算出方法、<https://www.env.go.jp/press/files/jp/19747.pdf>、2021-10-1参照・経済産業省国土交通省、ロジスティクス分野におけるCO2排出量算定方法 共同ガイドラインVer. 3.1、<https://www.greenpartnership.jp/asset/46989/view>、2021-10-1参照・国土交通省、物流CO2排出量簡易算定ツールについて、https://www.mlit.go.jp/pri/shiryoku/press/pdf/shiryoku110530_1-2.pdf、2021-10-1参照"

5. 事業の成果

【回収オペレーション・域内事業者との接続実証】



【成果】

- ・域内事業者（中部カレットとECOMMITは初の協業）と連携することで、こまめな回収対応が可能となった
- ・クリーンセンターで保管できたことで、3－4週に一度の回収頻度のECOMMIT車両(4t車)の必要積載量が担保できた

【課題点】

- ・市職員に係る負担
 - └店舗に負担をかけない方向で事業を進めたため、BOX容量があふれた際に市職員にて臨時回収
 - └クリーンセンターへ搬入時の、立ち合い・搬入作業負担

5. 事業の成果

【回収・選別にかかるコスト分析】

コストがかかる要因

- ①域内事業者への委託：週2回、実証期間 計18回
- ②ECOMMIT北関東事業所からの回収：宿泊費、2日分の人件費

本事業では
10週間の実証期間で約4.5トン、1回収あたり約**250kg**

【実現に向けた改善案】

・回収頻度の見直し

店舗への入れ替え作業の協力・または入れ替え作業の負担のない大容量BOXの設置
↳最大でも週1回の回収とする措置が必要

・回収方法

2025年に開設予定の中部事業所（名古屋近辺）からの回収を実施した場合
1回収あたり、複数の拠点を含わせて**500kg以上**回収できれば採算性を担保できる
↳10カ所で実施する場合、1カ所あたり**2.5袋**保管する計算
↳ 5カ所で実施する場合、1カ所あたり **5袋**保管する計算

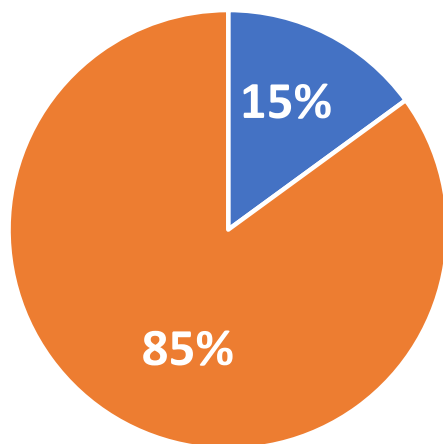
5. 事業の成果

【回収BOX利用者アンケート】

- 利用者の声（電子アンケート/店頭アンケート/選別会・譲渡会アンケート分 n=54）

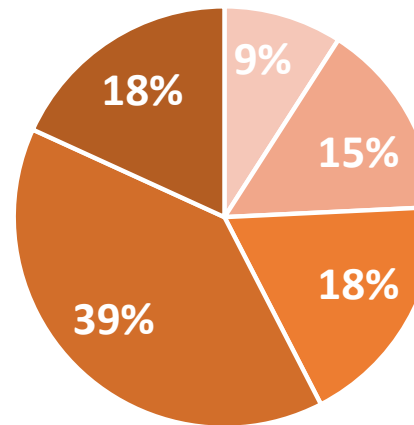
- ①オンラインアンケート実施期間：令和6年10月23日(水)～令和6年11月16日
- ②店頭アンケート実施日：令和6年10月24日(木)/実施場所：ドミー三谷店/回収数：9件
- ③選別会・譲渡会アンケート実施日：令和11月16日(日)/全21件のうちBOX利用者5人

性別



■ 男性 ■ 女性

年代



■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

5. 事業の成果

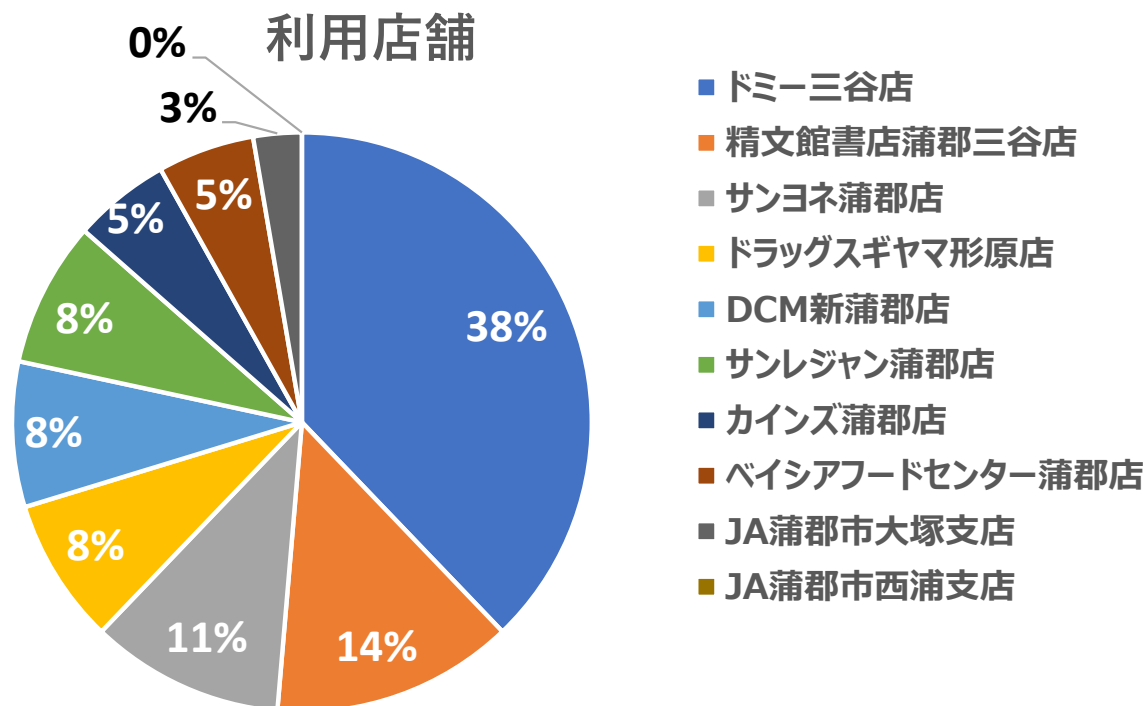
【回収BOX利用者アンケート】

- 利用者の声（電子アンケート/店頭アンケート/選別会・譲渡会アンケート分 n=54）

①オンラインアンケート実施期間：令和6年10月23日(水)～令和6年11月16日

②店頭アンケート実施日：令和6年10月24日(木)/実施場所：ドミー三谷店/回収数：9件

③選別会・譲渡会アンケート実施日：令和11月16日(日)/全21件のうちBOX利用者5人



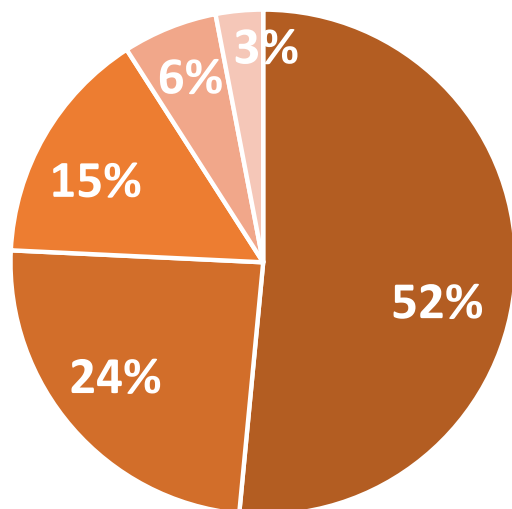
5. 事業の成果

【回収BOX利用者アンケート】

- 利用者の声（電子アンケート/店頭アンケート/選別会・譲渡会アンケート分 n=54）

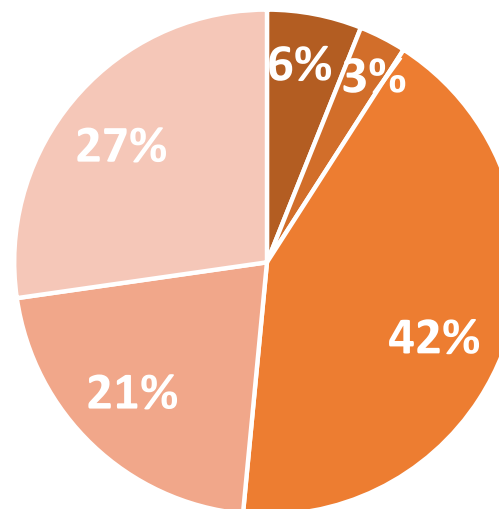
- ①オンラインアンケート実施期間：令和6年10月23日(水)～令和6年11月16日
- ②店頭アンケート実施日：令和6年10月24日(木)/実施場所：ドミー三谷店/回収数：9件
- ③選別会・譲渡会アンケート実施日：令和11月16日(日)/全21件のうちBOX利用者5人

利用回数



■ 1回 ■ 2回 ■ 3～5回 ■ 6～10回 ■ 10回以上

合計持ち込み点数



■ 1点 ■ 2点 ■ 3～5点 ■ 6～10点 ■ 10点以上

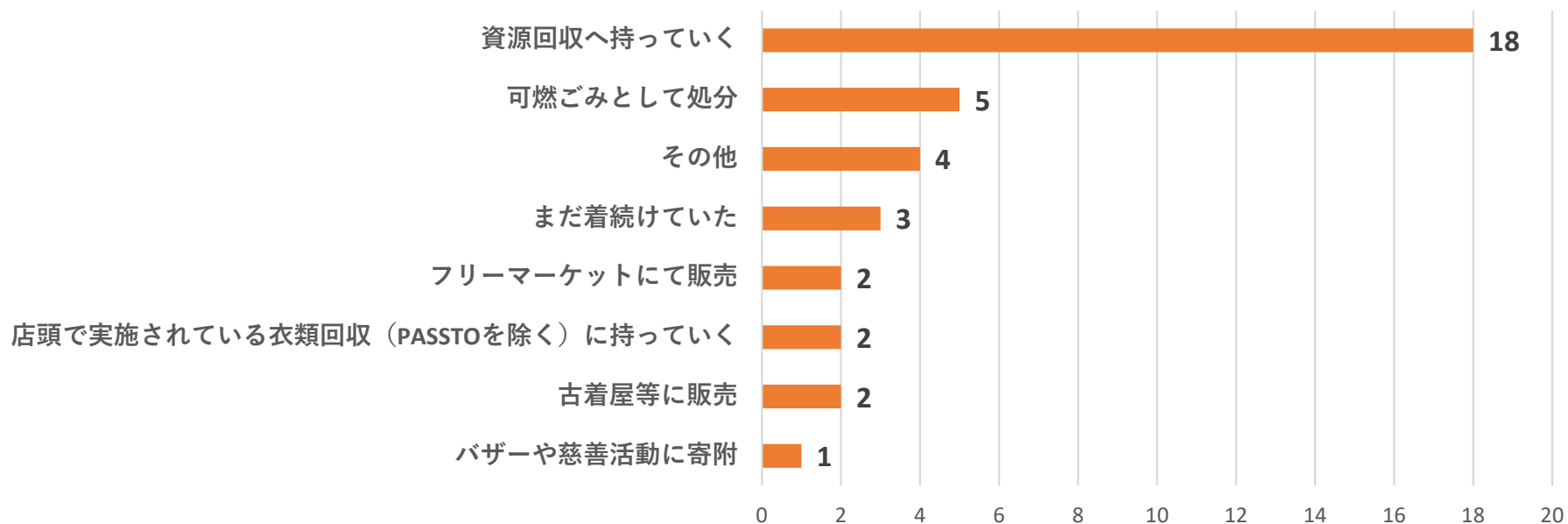
5. 事業の成果

【回収BOX利用者アンケート】

- 利用者の声（電子アンケート/店頭アンケート/選別会・譲渡会アンケート分 n=54）

- ①オンラインアンケート実施期間：令和6年10月23日(水)～令和6年11月16日
- ②店頭アンケート実施日：令和6年10月24日(木)/実施場所：ドミー三谷店/回収数：9件
- ③選別会・譲渡会アンケート実施日：令和11月16日(日)/全21件のうちBOX利用者5人

PASSTOがなかったらどのように扱っていたか



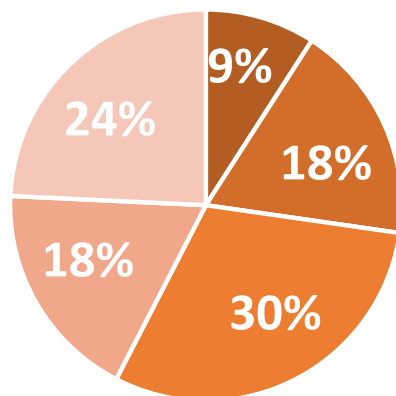
5. 事業の成果

【回収BOX利用者アンケート】

- 利用者の声（電子アンケート/店頭アンケート/選別会・譲渡会アンケート分 n=54）

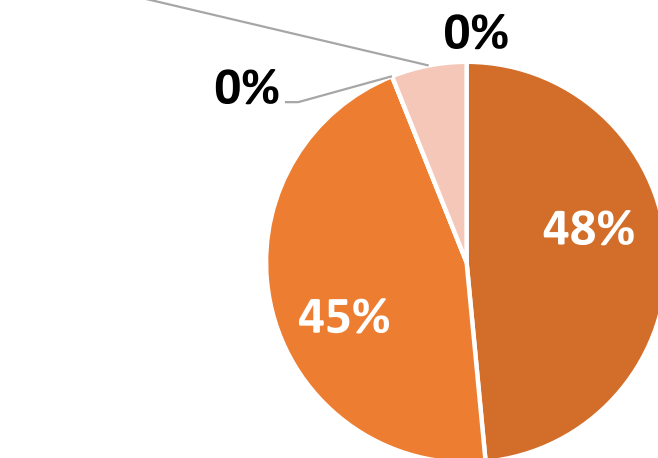
- ①オンラインアンケート実施期間：令和6年10月23日(水)～令和6年11月16日
- ②店頭アンケート実施日：令和6年10月24日(木)/実施場所：ドミー三谷店/回収数：9件
- ③選別会・譲渡会アンケート実施日：令和11月16日(日)/全21件のうちBOX利用者5人

どの程度着用したものが多いか



■ 半年未満 ■ 半年以上1年未満 ■ 1年～3年 ■ 4～5年 ■ 6年以上

何回ぐらい着用したものが多いか



■ 一度も着用していない ■ 1～数回着用した ■ 数十回着用した ■ 数えられない

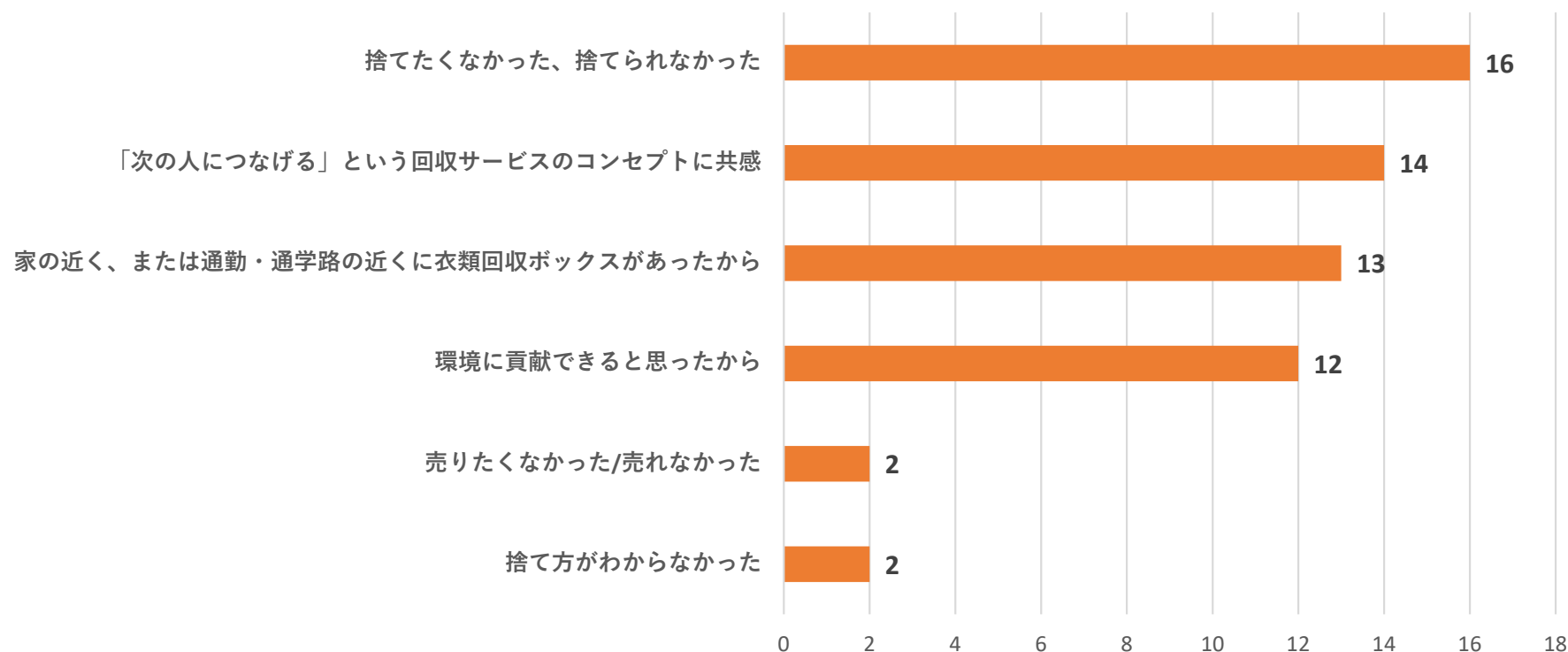
5. 事業の成果

【回収BOX利用者アンケート】

- 利用者の声（電子アンケート/店頭アンケート/選別会・譲渡会アンケート分 n=54）

- ①オンラインアンケート実施期間：令和6年10月23日(水)～令和6年11月16日
- ②店頭アンケート実施日：令和6年10月24日(木)/実施場所：ドミー三谷店/回収数：9件
- ③選別会・譲渡会アンケート実施日：令和11月16日(日)/全21件のうちBOX利用者5人

投函理由



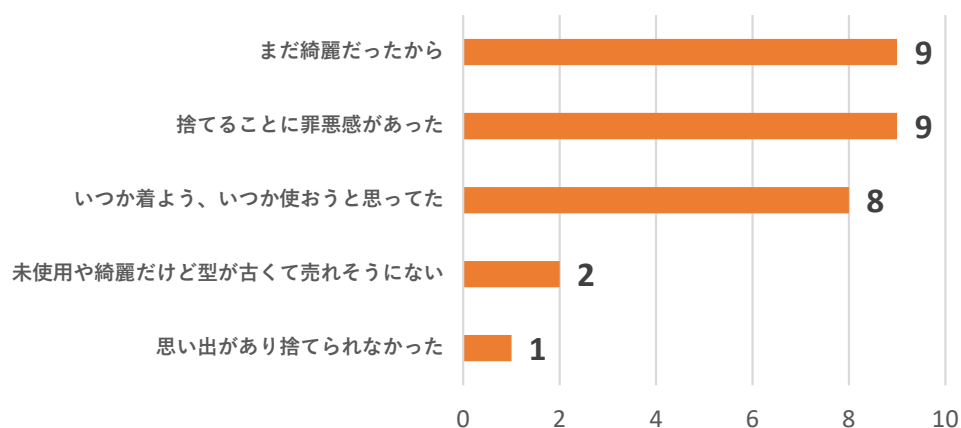
5. 事業の成果

【回収BOX利用者アンケート】

- 利用者の声（電子アンケート/店頭アンケート/選別会・譲渡会アンケート分 n=54）

- ①オンラインアンケート実施期間：令和6年10月23日(水)～令和6年11月16日
- ②店頭アンケート実施日：令和6年10月24日(木)/実施場所：ドミー三谷店/回収数：9件
- ③選別会・譲渡会アンケート実施日：令和11月16日(日)/全21件のうちBOX利用者5人

「捨てたくなかった/捨てられなかった」 と回答した方のみ,その理由



「売りがくなくかった/売れなかった」 と回答した方のみ,その理由



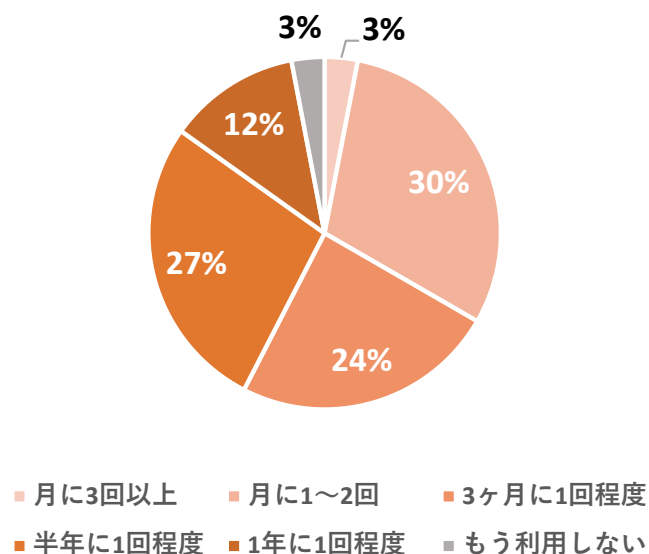
5. 事業の成果

【回収BOX利用者アンケート】

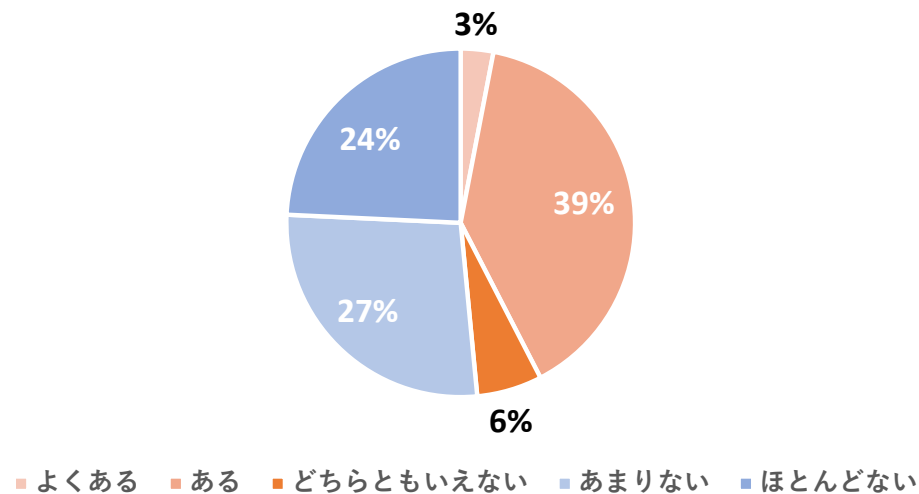
- 利用者の声（電子アンケート/店頭アンケート/選別会・譲渡会アンケート分 n=54）

- ①オンラインアンケート実施期間：令和6年10月23日(水)～令和6年11月16日
- ②店頭アンケート実施日：令和6年10月24日(木)/実施場所：ドミー三谷店/回収数：9件
- ③選別会・譲渡会アンケート実施日：令和11月16日(日)/全21件のうちBOX利用者5人

今後「PASSTO」をどの程度の頻度で
利用したいか



「PASSTO」目的の来店



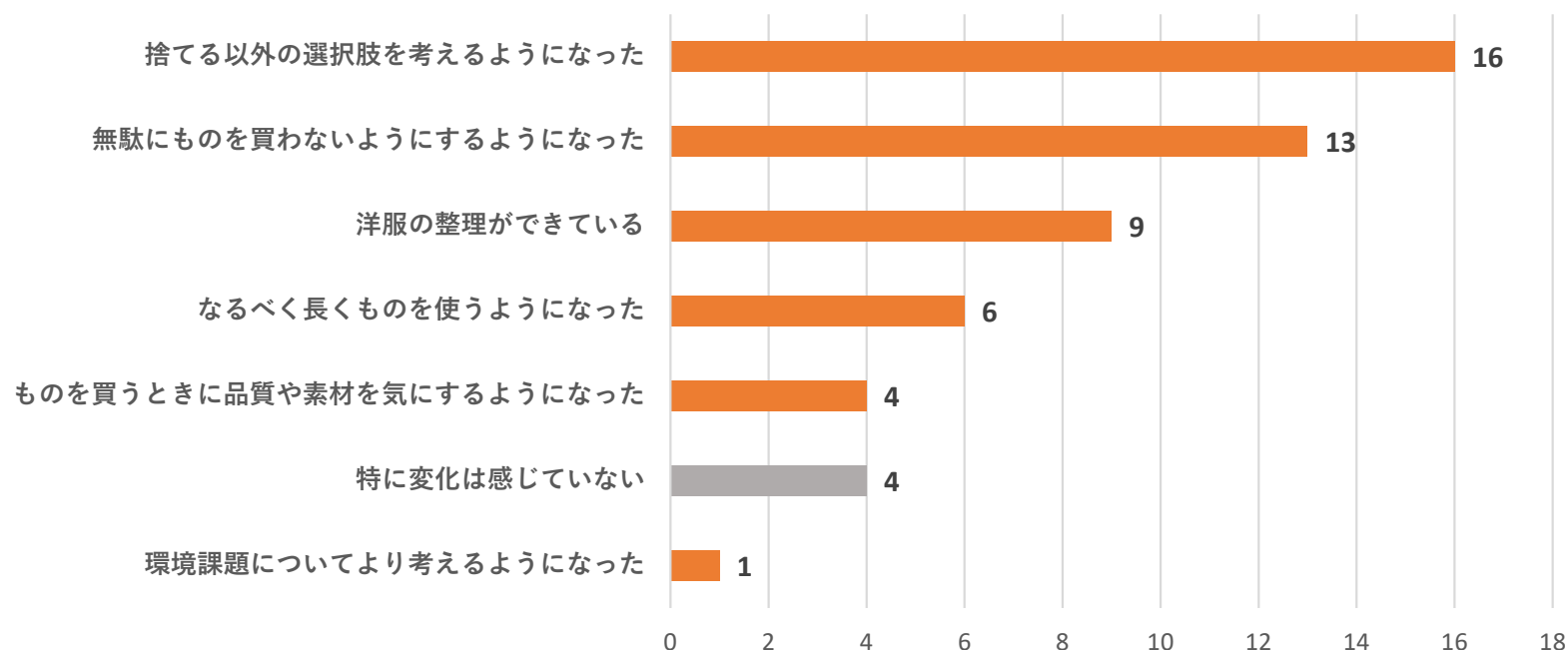
5. 事業の成果

【回収BOX利用者アンケート】

- 利用者の声（電子アンケート/店頭アンケート/選別会・譲渡会アンケート分 n=54）

- ①オンラインアンケート実施期間：令和6年10月23日(水)～令和6年11月16日
- ②店頭アンケート実施日：令和6年10月24日(木)/実施場所：ドミー三谷店/回収数：9件
- ③選別会・譲渡会アンケート実施日：令和11月16日(日)/全21件のうちBOX利用者5人

「PASSTO」利用後の意識変化



5. 事業の成果

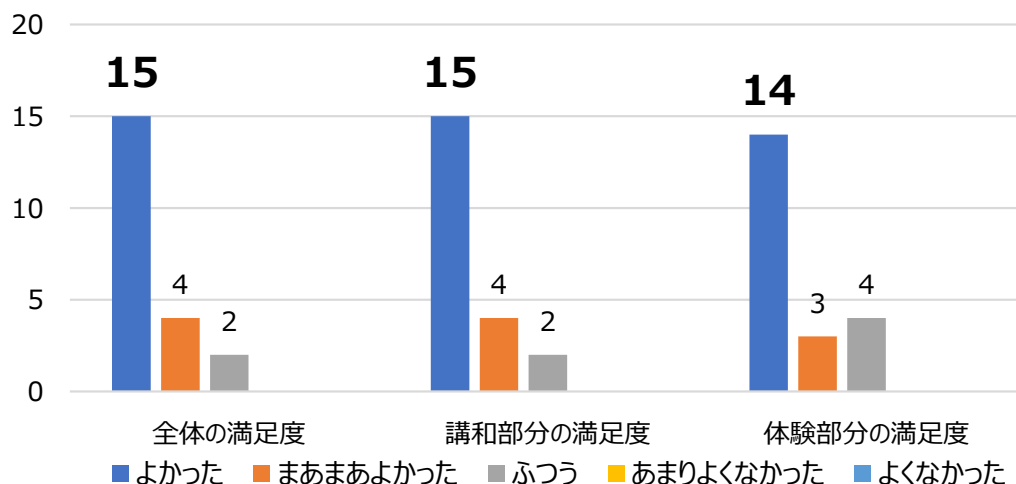
【選別体験・譲渡会アンケート】

- アンケート調査結果

◆参加人数：合計26人（女性18人、男性3人）

午前の部 17人 / 午後の部 9人

イベントの満足度



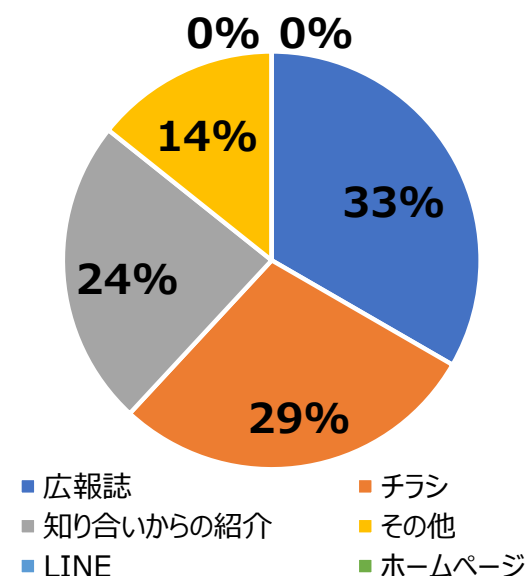
◆同イベントが開催されたら

また来たい……………8人

近所であればまた来たい……9人

もう来ない……………3人

参加のきっかけ



◆譲渡会でリユースされた衣類

枚数40着 / 重量：13.4kg

◆譲渡会で引き取った衣類の重量：合計45.4kg

子供服：6.18kg / 大人服：39.22kg

5. 事業の成果

【選別体験・譲渡会アンケート】

- アンケート調査結果

○ その他の意見（抜粋）

- リサイクルできる洋服が多いのでゴミとして捨てるのは、もったいない事が分かり、**とても勉強になった。**
- 市外（西尾）からの参加。蒲郡市の取組に常々関心があり、感心していた。表面上だけでなく、**深いところからの取組が大切**だと思った。
- 洋服の循環がわかって、これからの**洋服選びの参考**にしたい。リユースできないか考えて、**焼却しないようにしたい。**
- 衣類の素材について勉強できてよかった。
- 資源を無駄にしない点でよいと思った。
- とても学習できた。
- 前から**資源として出した衣類がどうなっていくか知りたかった**ので参加してよかった。リユース・リサイクルの選別の体験もできておもしろかった。
- **リユース・リサイクルについて知らなかったことを知ることができた。**素材によって行き先が違うんですね。
- 廃棄物を減らすこと、次の資源にすること大変必要だと思う。

5. 事業の成果

【他アンケート調査との比較】

①

環境省
「ファッションと環境」

<参考>

https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

②

他自治体
「サステナビリティ消費の動
向調査」

<参考>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000049.000067508.html>

③

本事業

<調査情報>

実施期間：1年間

回答数：155件

対象：イオンモール佐賀大和店の衣類回収ボックス利用ユーザー（さすてなポイントの登録ユーザー）

特徴：ボックスへ投函の際、店頭等で使用可能なクーポンに交換できるポイントを付与

<調査情報>

実施期間：2か月間

回答数：33件

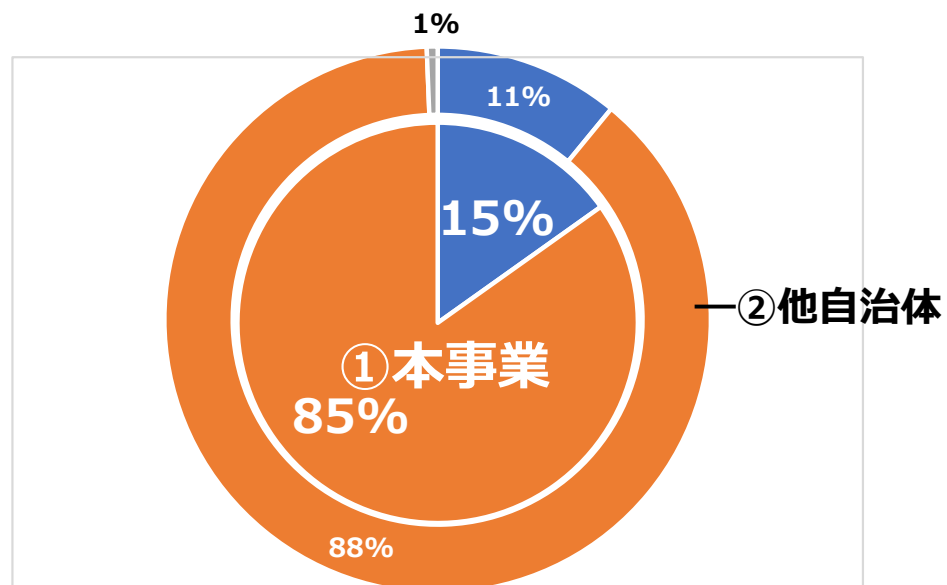
対象：蒲郡市内の商業施設9カ所の衣類回収ボックス利用ユーザー

5. 事業の成果

【他アンケート調査との比較】

②他自治体③本事業のデータを比較

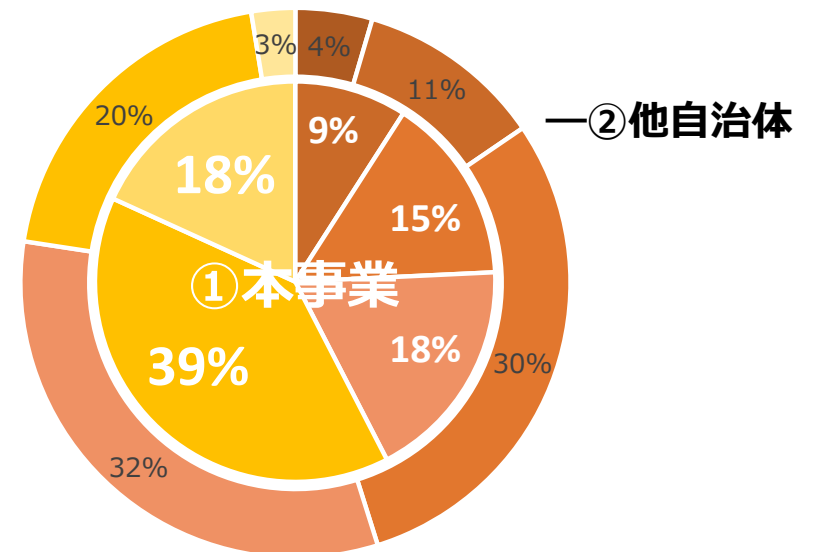
回答者の性別割合



■ 男性 ■ 女性 ■ 回答したくない

回答者の年代割合

・60代以上の利用者が44.4%増となっている



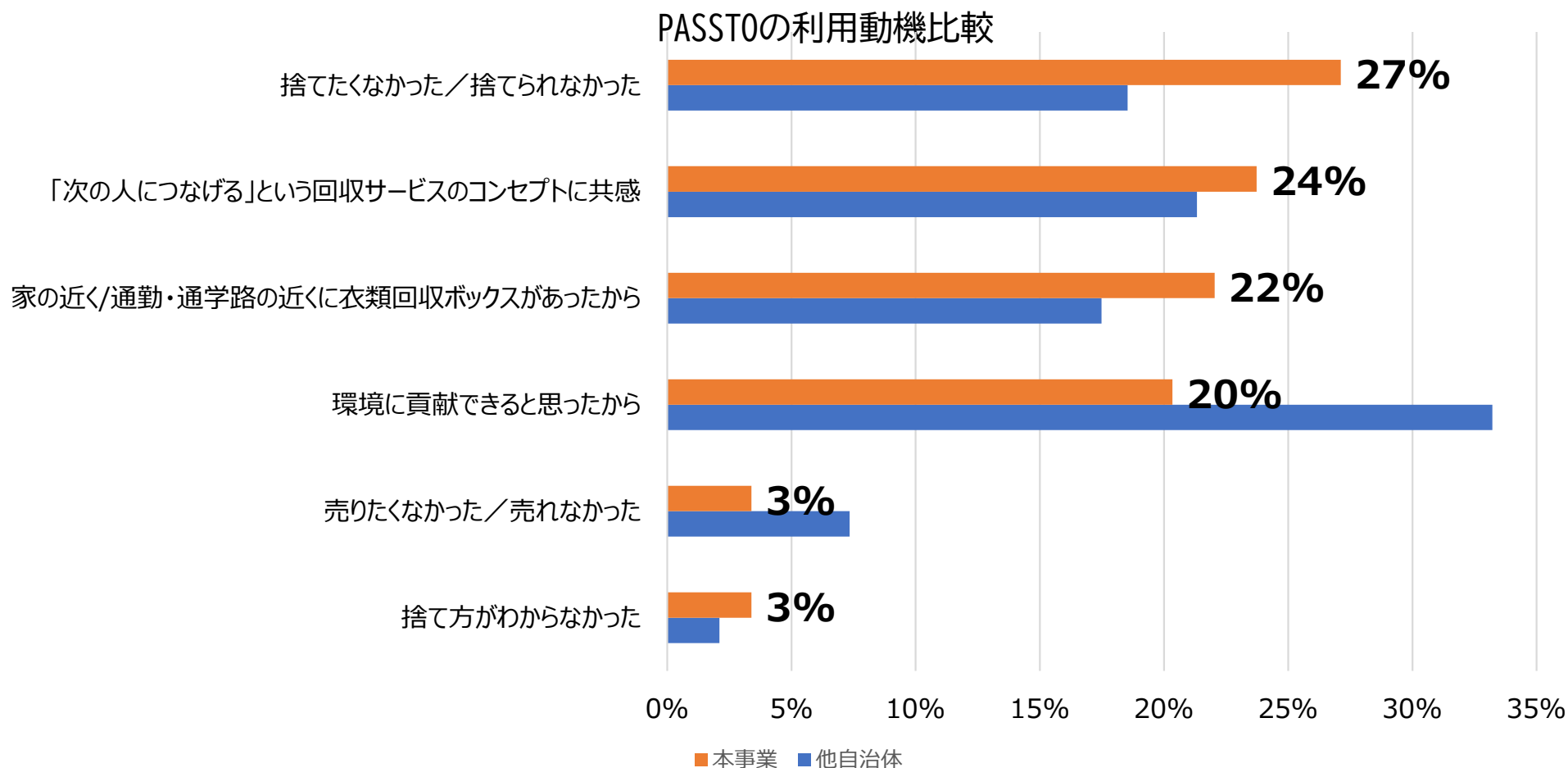
■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

5. 事業の成果

【他アンケート調査との比較】

②他自治体③本事業のデータを比較

- ・「捨てたくなかった/捨てられなかった」と回答する利用者が多い傾向にある
- ・「家の近く/通学路の近くにあったから」との回答が割合として多く、エリアを分散させた10カ所の商業施設に設置した効果とみられる



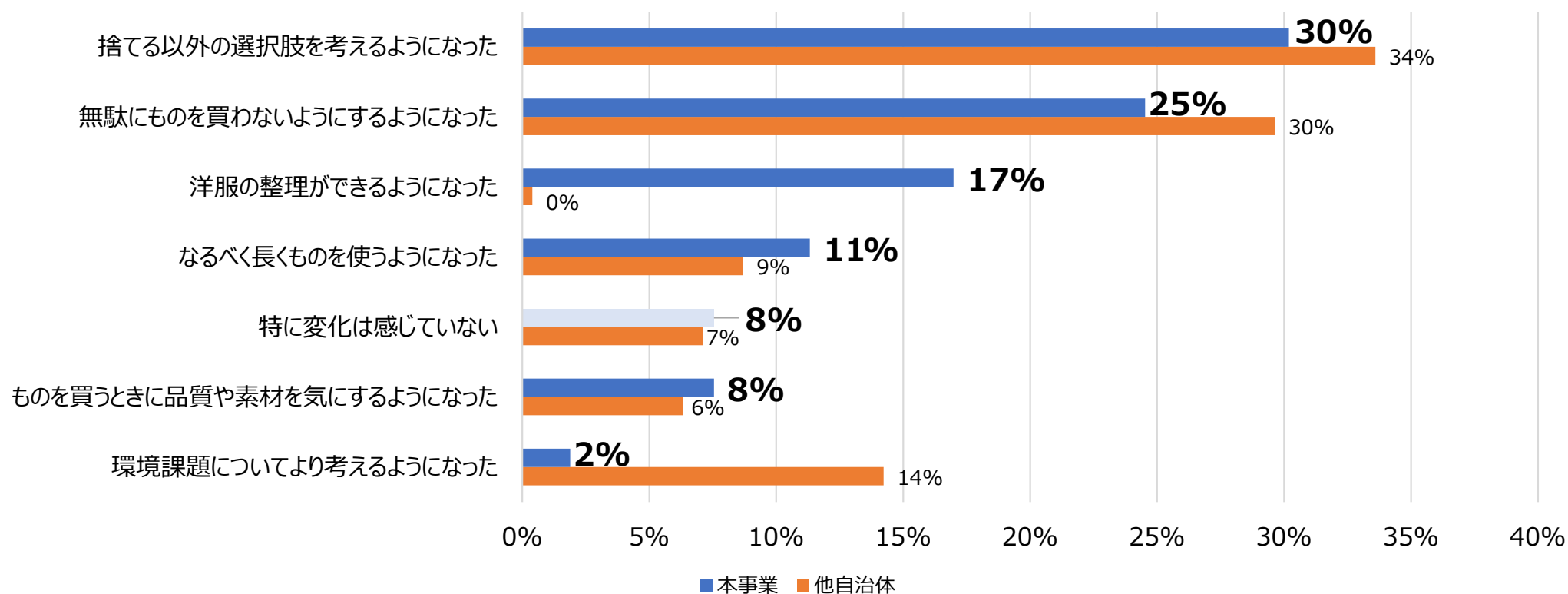
5. 事業の成果

【他アンケート調査との比較】

②他自治体③本事業のデータを比較

- ・回答者の**92%**が何かしらの意識変化があったと回答
- ・「洋服の整理ができるようになった」と回答した割合が**17%増**
- ・「環境課題についてより考えるようになった」と回答した割合が**12%減**

PASSTO利用後の意識変化の比較



5. 事業の成果

【他アンケート調査との比較】

①環境省②他自治体③本事業すべてのデータを比較

衣類の購入枚数の比較



衣類を手放す枚数の比較



着用されない衣類の枚数比較

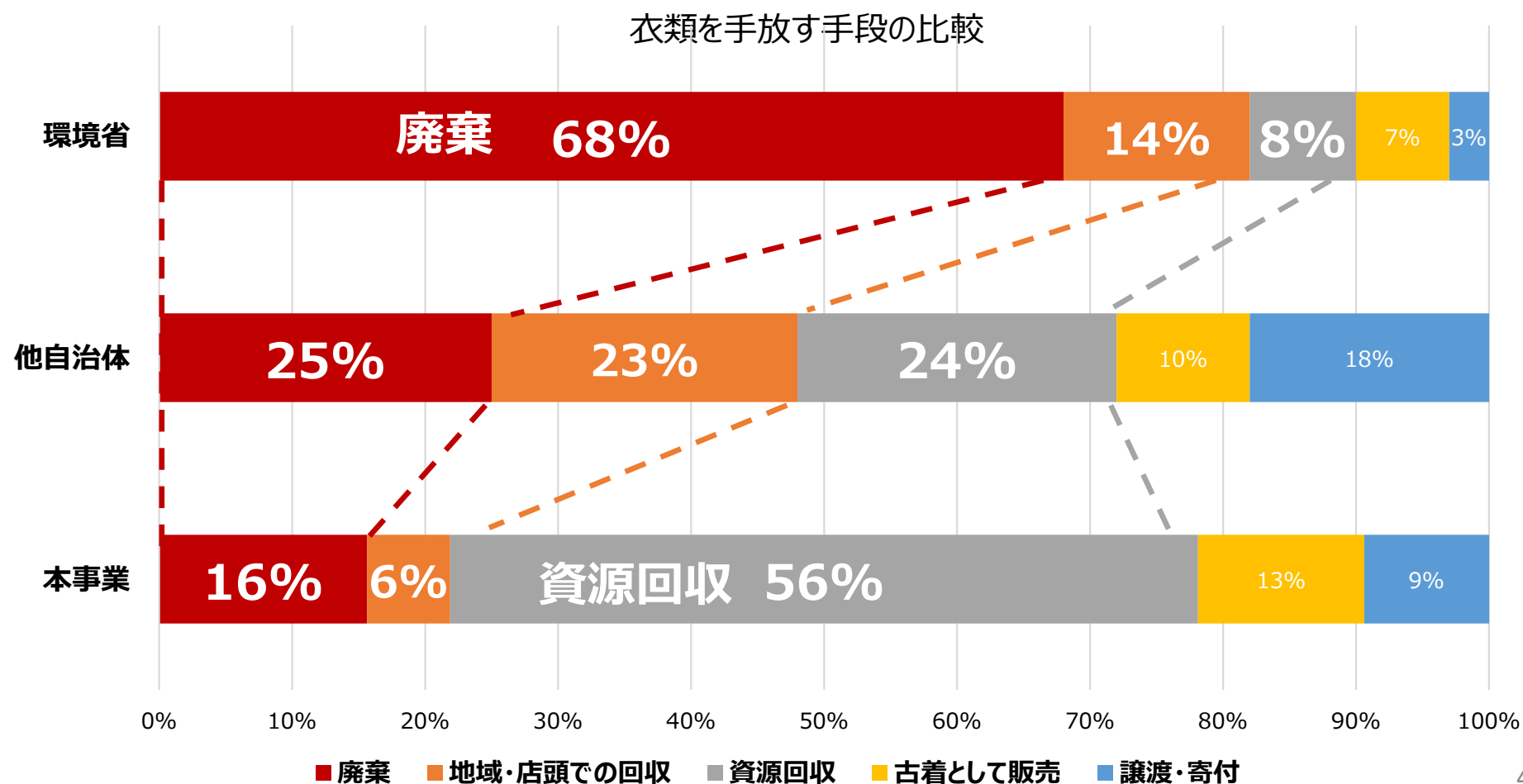


5. 事業の成果

【他アンケート調査との比較】

①環境省②他自治体③本事業のデータを比較

・「資源回収」の割合が高く、環境省との比較では48%増、他自治体との比較では22%増となった。一方で廃棄の割合は低く、環境省との比較では52%減、他自治体との比較では9%減となった。



5. 事業の成果

掲載メディアなど

ECOMMITJP / EN

環境省「使用済衣類回収システム構築に関するモデル実証事業」に採択

2024.06.21

株式会社ECOMMIT、愛知県蒲郡市、中部電力株式会社は、環境省が公募した「令和6年度使用済衣類回収システム構築に関するモデル実証事業」に連携して応募し、採択されました。

詳細はこちら

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000058.000067508.html>

令和6年6月21日 株式会社ECOMMIT ホームページ

お知らせ

環境省「使用済衣類回収システム構築に関するモデル実証事業」に採択

2024年06月21日
中部電力株式会社
蒲郡市
株式会社ECOMMIT

印刷

記事をシェアする



当社、愛知県蒲郡市（市長：鈴木寿明）および株式会社ECOMMIT（住所：鹿児島県薩摩川内市水引町2803、代表取締役CEO：川野輝之、以下「ECOMMIT」）は、環境省が公募した「令和6年度使用済衣類回収システム構築に関するモデル実証事業」に連携して応募し、採択されました。

1 事業名

「捨てない社会をかなえる」

使用済衣類回収・循環のインフラ構築に係るサーキュラーシティ実証事業

2 採択された実証事業の内容

使用済衣類は資源物としての処分を促しているが一定程度は適切に分別されず、焼却ごみとして廃棄されるものも存在するため、使用済衣類に限らず、適切に分別することで資源になるという意識を市民に持ってもらう必要があります。本事業においては、当社、蒲郡市およびECOMMITが連携し、資源循環サービス「PASSTO（パスト）」を利用することで生活導線上に回収拠点を設置します。回収量を確保するとともに、蒲郡市内での回収システムの構築、市民が本事業に参加することでゼロカーボンシティ、サーキュラーシティに貢献していることを認識し、意識変容・行動変容を促し、持続可能なまちづくりをおこないます。

令和6年6月21日 中部電力株式会社ホームページ

5. 事業の成果

掲載メディアなど



最新文章： イベント ラーニングハブ データベース 会員登録

新着記事

HOME / ニュース / 国内 / 蒲都市と中部電力、ECOMMITが環境省の「使

ニュース

蒲都市と中部電力、ECOMMITが環境省の「使用済衣類回収システム構築に関するモデル実証事業」として採択

HEDGE GUIDE Editorial Team, 2024年6月25日



令和6年6月25日 Circular Economy Hub

ECOMMITと愛知県蒲都市がサーキュラーシティ推進に向けた リユースの活動促進に関する協定を締結 [ECOMMIT]

2024年6月29日 PR TIMES 3725文字

ビジネステーマ ESG(環境) サーキュラーエコノミー

循環型社会に向けた不要品の回収・選別・再流通のインフラを構築する株式会社 ECOMMIT(本社: 鹿児島県薩摩川内市、代表取締役CEO:川野 輝之、以下「ECOMMIT」と)、愛知県蒲都市(市長:鈴木寿明、以下「蒲都市」)は、サーキュラーシティ推進に向けたリユースの活動促進に関する協定を締結しました。...



令和6年6月29日 日本経済新聞

蒲都市とECOMMITが連携協定締結

06月29日(土)00:00掲載

カテゴリー: 社会・経済

ツイート

蒲都市は28日、鹿児島県薩摩川内市のリユース・リサイクル事業「ECOMMIT」とリユース活動の促進に向けた連携協定を結んだ。
蒲都市は、循環経済をまちづくりに取り入れた都市「サーキュラーシティ」実現を掲げ、まだ使える粗大ごみをフリマサイトを通じてリユースをし、ごみの減量化に努めている。さらなる減量化のため、全国各地で古着など回収して再利用する同社に声掛けした。

協定はリユースとサーキュラーシティを推進するとともに、地域の課題解決や地域の活性化をつなげていく内容。9～10月に、同社が資源循環サービスとして提供する回収ボックス「PASSTO」を使い、古着を効果的に回収できるルートとシステムの構築に向けた実証実験に取り組む。

締結式は蒲都市役所で開かれた。鈴木寿明市長とECOMMITの坂野晶CSO(最高戦略責任者)が協定書に署名した。

鈴木市長は「さらなるリユースの促進につなげていきたい。市民に循環社会の意義を伝え生活の行動変容を促していきたい」と話した。坂野CSOは「蒲都市での取り組みや事例が、全国のモデルとして広がっていくことを目指したい」と述べた。

【林大二朗】



協定を締結した鈴木市長と坂野CSO(左)=蒲都市役所で

令和6年6月29日 東愛知新聞

プレスリリース

ECOMMITと愛知県蒲都市がサーキュラーシティ推進に向けた リユースの活動促進に関する協定を締結 (PR TIMES)

2024/6/29 16:40 (最終更新 6/29 16:40) 3,222文字

情報提供 PR TIMES
プレスリリースページの情報について

循環型社会に向けた不要品の回収・選別・再流通のインフラを構築する株式会社 ECOMMIT(本社: 鹿児島県薩摩川内市、代表取締役CEO:川野 輝之、以下「ECOMMIT」と)、愛知県蒲都市(市長:鈴木寿明、以下「蒲都市」)は、サーキュラーシティ推進に向けたリユースの活動促進に関する協定を締結しました。



ECOMMIT

令和6年6月29日 毎日新聞

5. 事業の成果

掲載メディアなど

政治行政

リユース活動促進

蒲郡市とECOMMITが連携協定／衣類回収ボックス設置進める

2024/07/05

物を繰り返し使うリユース活動を促進するため、蒲郡市はリサイクル会社 ECOMMIT（エコミット、鹿児島県薩摩川内市）と連携協定を結んだ。今後、不要になった衣類の回収拠点を市内に置き、再利用や再資源化につなげる。

同社は、自治体が回収した不要品をリユースにつなげる事業を展開している。協定により、蒲郡市内の商業施設や公共施設などに回収ボックス「PASSTO（パスト）」の設置を進める。PASSTOを通じた資源循環サービスは先月、環境省の実証事業に採択された。

市は、廃棄物を出さない「サーキュラーシティ」を目指して、環境対策に取り組んでいる。鈴木寿明市長は「連携によりリユースの取り組みが加速する。エコミット社とともにサーキュラーシティ蒲郡を構築していきたい」と抱負を述べた。市役所で鈴木市長と協定書を交わした同社取締役CSOの坂野晶さんは「日本全国で取り組めるサーキュラーエコノミーのモデルをつくっていきたい」と意気込んだ。



協定書を交わした坂野CSOと鈴木市長

令和6年7月5日 東日新聞

西日本新聞 me
2024年9月2日(月) 福岡

マイページ 朝刊・夕刊 セレクト おでかけ・特典 紙面 あな特 登録する ログイン

トップ 福岡 九州 速報 経済 コラム・社説 社会 くらし ホークス ニュースを検索

西日本新聞 > 全国・海外ニュース > ニュースリリース > 環境省「使用済衣類回収システム構築に関するモデル実証事業」による使用済み衣類回収実証事業の実施について

石油からバイオエタノールへ

[OEMの方必見!] バイオエタノールから様々なプラスチックの原料を作る技術を紹介します

旭化成株式会社

もっと見る >

ニュースリリース

環境省「使用済衣類回収システム構築に関するモデル実証事業」による使用済み衣類回収実証事業の実施について

2024/9/2 3:43 (2024/9/2 3:49 更新)

蒲郡市（市長：鈴木寿明）、株式会社ECOMMIT（住所：鹿児島県薩摩川内市水引町2803、代表取締役CEO：川野輝之）、中部電力株式会社（住所：愛知県名古屋市中区東新町1、代表取締役社長：林欣吾）は、「令和6年度使用済衣類回収システム構築に関するモデル実証事業」に連携して採択されたことを受け、下記のとおり実証事業を実施します。



1 事業名

「捨てない社会をかなえる」

使用済衣類回収・循環のインフラ構築に係るサーキュラーシティ実証事業

2 実施内容

(1) 目的

令和6年9月2日 西日本新聞

5. 事業の成果

掲載メディアなど

衣類回収サービス広がる リユース、再資源に〈SDGs〉

2024年9月17日 13時02分 (9月17日 13時02分更新)

着ていない衣類を手放す際、その68%が可燃ごみや不燃ごみとして廃棄されている。こんな数字が、環境省の2022年度の調査で明らかになった。低価格のファストファッションの台頭で、衣類が大量に生産・消費されて捨てられていく中、まだ使い道がある衣類を古着として再流通させたり、資源としてリサイクルさせたりする取り組みが広がっている。（大野雄一郎）



令和6年9月17日 中日新聞

○三河湾ネットワーク（ケーブルテレビ）

番組名：テレビ回覧版WEEKLY（特集レポート内）

放映日：令和6年9月7日（土）～令和6年9月13日（金）

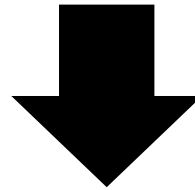
放映時間：15分（9時、正午、15時、19時、22時 1日6回放映）

5. 事業の成果

目標（ゴール）の達成状況

事業目標

- 本事業を実施することで地域内での回収・リユースの最適なシステムを構築
- 新たな回収拠点におけるリユース品回収量を実証期間で3トンの回収
- 回収した衣類のリユース率・リサイクル率を90%以上
- 利用者アンケートによる市民の意識の変化を促す。60%以上の意識変化



事業結果

- 本事業を実施することで地域内での回収・リユースの最適なシステムを構築
⇒ **市内の回収事業者と連携し、回収を実施**
- 新たな回収拠点におけるリユース品回収量を実証期間で3トンの回収
⇒ 実証期間中の回収総量 **約4.5トン**
- 回収した衣類のリユース率・リサイクル率を90%以上（うちリユース70%以上）
⇒ リユース・リサイクル率 **98.7%（リユース率79.8%）**
- 利用者アンケートによる市民の意識の変化を促す。60%以上の意識変化
⇒ 意識変化した割合 **92%**

6. 今後の検討課題

○ 広報を行った効果もあり、事業開始初日（9/1（日））に10カ所の回収ボックスは満杯。

翌2日もBOXが満杯になる拠点が発生。

→ 急遽回収して一時保管。週1回の回収予定を週2回（月・木）へ**増便対応**。

協力いただける店舗は、店舗が協力して回収袋の交換、一時保管対応。

○ 回収ボックスの利用が好評のため、

持ち込み制限（ボックスがいっぱいになった際の投入不可の表示）や

店舗スタッフの対応（回収袋の交換）をしていただいても**対応が間に合わない店舗が発生**

店舗側の負担を解消できないことから**9月19日で1店舗回収BOXを撤収**。

（検討内容）

- ・設置箇所におけるBOXの増設や大きいサイズのBOX設置可能性の検討
- ・店舗側の回収袋の交換・一時保管の協力可能性の検討
- ・事業性のとれる回収頻度と店舗側の負担とのバランスの確保

6. 今後の検討課題

- より多くの利用者ニーズや利用者数を把握するために、利用者にアンケートなどを回答いただく方法の事業開始前における検討・準備
(利用・アンケート時の回答ポイント付与など)
- 事業継続のために協力店舗側への**メリットの還元・創出**
(費用、情報発信、循環に取り組む優良店舗認定制度など)
- 事業継続のための**回収量の確保**
 - 他自治体と連携した広域的な回収ルート（三河エリア・中部エリアなど）の構築の検討が必要。

7. 事業終了後の展開

- 実証事業終了後（令和6年11月1日以降）、**1店舗（ドミー三谷店）回収BOXを継続して設置。使用済衣類の回収ボックスとともに雑貨の回収ボックスも設置。**
- 回収BOXに使用済衣類を入れていただいた量が目標を大きく超え、市民のニーズの高さを伺うことができた。これを受け、使用済衣類の回収のさらなる事業の推進のため、**令和7年2月に臨時で「リユース品回収の日」を設け、使用済衣類の回収を実施予定。**
- 本実証で行った回収BOXのように生活導線上に設置するものと特定の日を「リユース品回収の日」として使用済衣類や雑貨の回収を行うことで**効果の比較を行い、今後のリユース施策の参考**とする。
- 自治体が一般的に行う資源回収では、回収後どのようにどれだけ資源化されているかわかりにくかったが、**ECOMMIT社のトレーサビリティにより、リユース等の状況を把握することができた。**市民にもどのように資源化されているか「見える化」することで単に捨てるのではなく、**リユース意識の向上**にもつながった。

8. 横展開へのポイント

- 市内の民間店舗と協力して市内で発生する使用済衣類をリユース・リサイクルし、焼却ごみを減らすことができる官民が連携した自治体モデル
- 行政区を超えたエリアとしての連携、クリーンセンターからは店舗から集約された使用済衣類のほかに雑貨（粗大ごみ）を一緒に回収することで事業継続性・事業拡大の可能性も高まる。
- 市民及び店舗の循環に関する十分な意義の理解と意識の醸成が必要
- 株式会社ECOMMITによるトレーサビリティを開示することで回収した衣類の再利用先・CO2削減量などを明示することができ、市民の意識の向上につながる。
- 回収ボックスの管理など店舗側との協力体制の構築

参考：【導入へのステップ】

1. 設置候補店舗・施設の公募または紹介。
2. 設置店舗・施設への確認・依頼（店舗側のボックスの管理など）
3. 回収ルート等の確認（ボックス設置店舗、回収業者など）
4. 実施開始周知・広報（自治体、施設）
5. 1か月程度設置施設ごとの利用量の確認。
⇒ 利用量に応じてボックスの増設、設置個所の増減の検討
6. 本格的な実装